

かな入力※したテキストを 1チップで音声データに変換 音声合成LSI MICRO TALK®

※ひらがな、カタカナ、数値、単位入力に対応

特長

MICRO TALKは、独自の音声合成エンジン(注1)を採用することで、任意の音声メッセージを動的に生成する日本語の規則音声合成機能を初めて1チップに集約した製品です。

シリアルインターフェースを介して転送された音声記号列データを、MICRO TALKが直接音声データに変換するため、下記のような利点があります。

- パソコン不要
- 音声データをROM化する必要がない
- 発声可能なメッセージ数や再生時間に制約がない(注2)
- 数値の読み上げが可能
- データ作成費用等の初期費用が不要
- 外部にシリアルEEPROMを用意することで、固定メッセージの記録・再生が可能(注3)

(注1) 株式会社アクエスト製 音声合成エンジン“AquesTalk”を搭載

(注2) 1回の通信で転送できるデータ量には制限があります。※ひらがな換算で最大128文字

(注3) 512kbitのシリアルEEPROMの場合、約32,000文字(発話時間で4,800sec程度)



● LSI



● 評価用基板

アプリケーション例

● 音声出力機能付き計測器

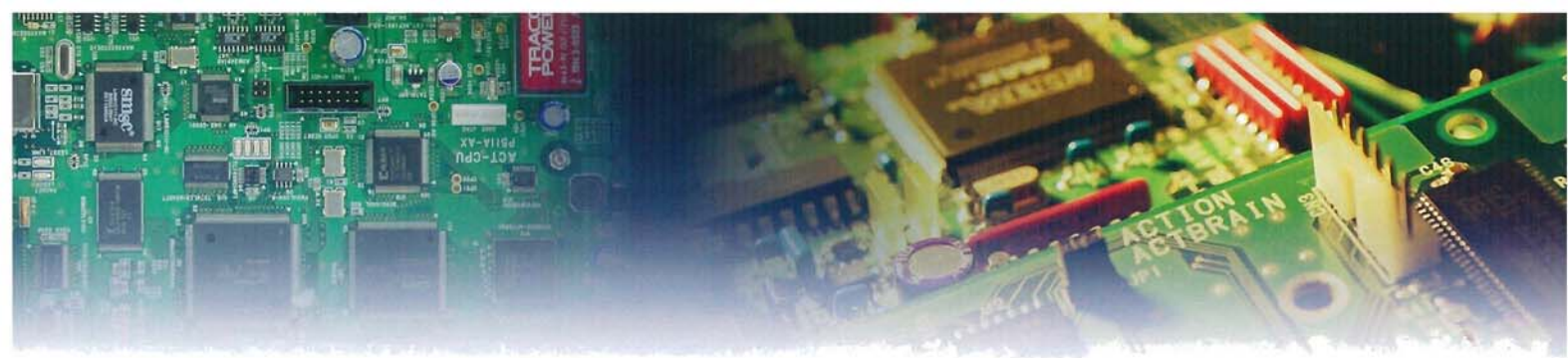
メータに表示されている数値(温度、電圧、流量、震度など)の読み上げにより、刻々と変化する測定値を音声で確認しながらの作業が可能になります。

● 音声データTAG

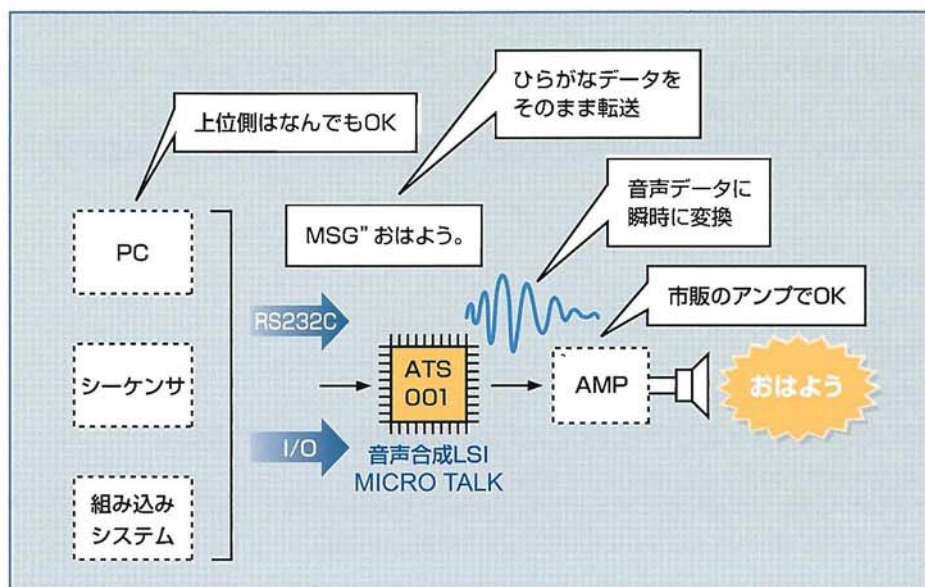
光やブザーなどで伝えていた情報を音声に置き換えることで、内容が明確になり、作業の効率化をはかることができます。

● 点字読み取り器

センサーなどで点字を読み取り、テキスト化することで、ダイレクトに音声に変換することができます。



システム構成例



製品仕様

製品名	MICRO TALK
型式	ATS001
形状	100pin LQFPパッケージ(14mm×14mm)
電源電圧	3.3V 32mA(TYP)
クロック	25MHz
外部I/F	シリアルインターフェース
音声出力	アナログ(音声帯域 4kHz) 0~3.3V(標準)
入力データ	かな表記音声記号列
補助機能	外部シリアルEEPROMを利用した固定メッセージの記録・再生が可能 ※512kbitシリアルEEPROMの場合 約32,000文字(256byte × 256ブロック) 1ブロック=256byte(128文字)

※評価用キットもご用意しております。

型式:ATS-CBK001

- ATS001搭載 ●1W(8Ω)アンプ回路内蔵(スピーカ付属)
- USB I/F(USB電源のみで駆動可) ●固定メッセージ記録用のEEPROM(64kbit)搭載

パソコンのUSBポートに接続するだけで、付属アプリケーションから入力した任意のメッセージを発声させることができます。

本カタログの内容は2008年7月現在のものです。仕様は予告なく変更する場合があります。

ACT BRAIN 株式会社アクト・ブレイン

〒243-0432 神奈川県海老名市中央2丁目8-41 東横ビル4F
<http://www.actbrain.jp>